EDU-2-045	-j		科目名	生徒	指導論(初	等)				
懸川 武史			開講年度学期	202	0年度 前期		単位数	2		
						めるととも	に、小学杉	をにおけ		
				理解す	るとともに生	上徒が抱 。	える生徒指	i導上の		
の対応										
自律する力			コミュニケーション力問題				問題に対応する力			
共生のための知識 〇			伝え合う力			分析し、思考する		J ()		
ま 〇	自己を抑制する力	0	協働する力		0	構想し、	実行するた)		
0	主体性	0	関係を構築すん	る力		実践的ス	パキル	0		
導の問題事	4例をグループワーク									
ング	サービスラ	ラーニング			課題解決型	2学修				
教職希望者	İ									
と レポート試験	験(80%) 演習への耳	反組(20%)								
生徒指導提	是要(平成22年3月)	文部科学省)							
			領解説特別活 重	协編(≦	平成29年6.	月)生徒排	指導リーフN	No.1~21(
ル										
生徒指導の意	義と課題、教育課程	における生行	走指導の位置で	づけにつ	ついて					
授業の振り返り	J					時間	数 1			
各教科、道徳	教育、総合的な学習(の時間、特別	別活動における	生徒排	指導の意義(こついて				
授業の振り返り	J					時間	数 1			
集団指導·個別	別指導の方法原理に	ついて								
授業の振り返り	J					時間	数 1			
児童理解の基	本と児童期の心理と	発達につい	τ							
授業の振り返り	J					時間	数 1			
生徒指導体制	づくりと生徒指導主作	壬の役割に	ついて							
授業の振り返り	J					時間	数 1			
教育相談体制	づくりとスクールカウ	ンセラー等。	との連携につい	7						
 授業の振り返り)					時間	数 1			
	 思生る生課対 なませい なませい なませい なませい なませい なませい なませい なませい なませい なまずい なまずい なまずい なまずい なまずい なまずい なりますい なまずい なりますい なりますい なまずい なりますい なりまますい なりますい なりまますい なりまますい なりまますい なりまますい なりまますい なりまますい なりまますい なりまますい なりまますい なりますい なりますい なりまますい なりまますい なり	生徒指導提要(文部科学省)をもる生徒指導の問題への対応の演生徒指導の意義や原理や小学校としてのの対応 は 〇 自己を理解する力 自己を理解する力 自己を抑制する力 自己を抑制する力 自己を抑制する力 主体性 の 生徒指導提要(文部科学省)を認識のででである。 グ 対 サービスを関連を対してのの関連を対してののででである。 グ 教職希望者 とは指導提要(平成22年3月では、小学校学習指導要領、小学校学習指導要領で、中でである。) と 生徒指導の意義と課題、教育課程授業の振り返り 各教科、道徳教育、総合的な学習の授業の振り返り 集団指導・個別指導の方法原理に 授業の振り返り 児童理解の基本と児童期の心理と授業の振り返り	腰川 武史 生徒指導提要(文部科学省)をもとに生徒指導 る生徒指導の意義や原理や小学校での生徒指 課題の様態とチーム学校としての対応のあり の対応 自律する力 自律する力 自己を理解する力 は 〇 自己を理解する力	歴川 武史 開講年度学期 生徒指導提要(文部科学省)をもとに生徒指導についての基 る生徒指導の問題への対応の演習を通して実践的な理解を 生徒指導の意義や原理や小学校での生徒指導の進め方を3 課題の様態とチーム学校としての対応のあり方を理解する。 の対応 自建する力 コミュニケーシ 版 〇 自己を理解する力 伝え合う力 協働する力 日	腰川 武史 閉講年度学期 202 生徒指導提要(文部科学省)をもとに生徒指導についての基本的が	無川武史 開講年度学期 2020年度 前期 生徒指導提要(文部科学省)をもとに生徒指導についての基本的な理解を深める。 生徒指導の意義や原理や小学校での生徒指導の進め方を理解するとともに生 課題の様態とチーム学校としての対応のあり方を理解する。 生徒指導の意義や原理や小学校での生徒指導の進め方を理解する。 の対応 自律する力 コミュニケーションカ 伝え合う力 伝え合う力 ほ 日きを理解する力 伝え合う力 原 日きを理解する力 いる働する力 いま 中性 の 関係を構築する力 の は働する力 いて学へるようにする。 の サービスラーニング 課題解決型 対職希望者 レポート試験(80%)演習への取組(20%) 生徒指導提要(平成22年3月文部科学省) 小学校学習指導要領解説特別活動編(平成29年6) 生徒指導、進路指導研究センター) ル 生徒指導の意義と課題、教育課程における生徒指導の位置づけについて授業の振り返り 集団指導・個別指導の方法原理について授業の振り返り 集団指導・個別指導の方法原理について授業の振り返り 集団指導・個別指導の方法原理について授業の振り返り 生徒指導体制づくりと生徒指導主任の役割について授業の振り返り 生徒指導体制づくりと生徒指導主任の役割について授業の振り返り 生徒指導体制づくりと生徒指導主任の役割について授業の振り返り 生徒指導体制づくりと生徒指導主任の役割について授業の振り返り	世に指導規要(文部科学省)をもとに生徒指導についての基本的な理解を深めるととも を生徒指導の問題への対応の演習を通して実践的な理解を深める。 生徒指導の意義や原理や小学校での生徒指導の進め方を理解する。 の対が	無川 武史 開講年度学期 2020年度 前期 単位数 生徒指導提要(文部科学省)をもとに生徒指導についての基本的な理解を深めるとともに、小学校 を生徒指導の問題への対応の演習を通して実践的な理解を深める。 生徒指導の意義や原理や小学校での生徒指導の進め方を理解するとともに生徒が抱える生徒指 課題の検閲とチーム学校としての対応のあり方を理解する。 の対応 自律するカ コミュニケーションカ 問題に対応する力	種川 武史 開講年度学期 2020年度 前期 単位数 2 生徒指導提要(文部科学者)をもとに生徒指導に下いての基本的な理解を深めるとともに、小学校における生徒指導の問題への対応の演習を通して実践的な理解を深める。 生徒指導の影響へ関準・ハ学校での生徒指導の進め方を理解するとともに生徒が抱える生徒指導上の課題の様態と子ーム学校としての対応のあり方を理解するともに生徒が抱える生徒指導上の課題の様態と子ーム学校としての対応のあり方を理解する。 日津するカ コミュニケーションカ 問題に対応するカ 日津するカ 日津するカ 日津するカ 日記を理解するカ 日記を理解を表して実践的な生徒指導の主徒指導の問題事例をグループワークで分析したり、対応を考えたりすることを通して実践的な生徒指導にフいて学へるようにする。 「世様情報と変(年成22年3月 文部科学省) サービスラーニング 課題解決型学修 東部第2章 要領、小学校学習指導要領解説特別活動編(平成29年6月)生徒指導リーフNo.1~21(生徒指導・進路指導研究センター) 日記を指導の意義と課題、教育課程における生徒指導の位置づけについて授業の振り返り 時間数 1 現定理解の基本と児室期の心理と発達について授業の振り返り 時間数 1 現定理解の基本と児室期の心理と発達について授業の振り返り 時間数 1 現定理解の基本と児室期の心理と発達について授業の振り返り 時間数 1 現定理解の基本と児室期の心理と発達について授業の振り返り 時間数 1 日記を経済を持ずなり返り	

授業外学修内						
容	授業の振り返り	時間数	1			
8週目						
授業学修内容	基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成への指導について					
授業外学修内 容	授業の振り返り	時間数	1			
9週目						
授業学修内容	自己の存在感を育むための場や機会の設定について					
授業外学修内 容	授業の振り返り	時間数	1			
10週目						
授業学修内容	校則、懲戒、体罰、いじめ等の生徒指導に関する法令について					
授業外学修内 容	授業の振り返り	時間数	1			
11週目						
授業学修内容	問題の発見と効果的な指導のあり方について					
授業外学修内 容	授業の振り返り	時間数	1			
12週目						
授業学修内容	暴力行為、いじめ、万引、不登校問題への具体的対応策について					
授業外学修内 容	授業の振り返り	時間数	1			
13週目						
授業学修内容	いじめ問題への未然防止に向けた取り組みについて					
授業外学修内 容	授業の振り返り	時間数	1			
14週目						
授業学修内容	インターネット、性、児童虐待等の今日的な課題への	対応と関係機関との連携について				
授業外学修内 容	授業の振り返り	時間数	1			
15週目						
授業学修内容	健全育成と学校・家庭・地域との連携について					
授業外学修内 容	授業の振り返り	時間数	1			
 上記の授業外学	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	15				
その他に必要な		75				

Number	EDU-2-045-j	Subject	Theory of Student Guidance (Primary Scho ol)			
Name	懸川 武史(Kakegawa Takeshi)	Year and S emester	First semester fo r 2020	Credits	2	
Course O utline	In student guidance, it is important to encourage student health development and enhanceself-instruction skills to achieve self-actualization. This course will learn the significance and principle of student guidance based on concrete examples.					